



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月5日

上場会社名 内海造船株式会社 上場取引所 東
コード番号 7018 URL <https://www.naik aizosen.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 耕作
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡野 浩 TEL 0845-27-2111
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	36,025	34.2	2,712	280.8	2,686	337.0	2,226	185.1
2023年3月期第3四半期	26,841	16.6	712	113.9	614	102.6	780	838.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,306百万円 (216.2%) 2023年3月期第3四半期 729百万円 (376.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	1,313.39	—
2023年3月期第3四半期	460.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	45,121	9,667	21.4
2023年3月期	40,204	7,429	18.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 9,667百万円 2023年3月期 7,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	24.9	2,000	161.2	1,900	197.7	1,700	130.5	1,002.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	2,253,000株	2023年3月期	2,253,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	558,052株	2023年3月期	557,934株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	1,695,015株	2023年3月期3Q	1,695,137株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外である

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではない。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がある。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照されたい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益は製造業を中心に円安を背景に回復傾向で推移し、設備投資についてもソフトウェアや情報機器投資を中心として持ち直している。また、対面型サービス業などでコロナ禍のリバウンド需要や円安進行を要因としたインバウンド需要により回復基調で推移したものの、物価高を背景に個人消費は節約志向が続いている。

世界経済については、ウクライナ情勢の長期化、中東情勢の悪化などに伴い、原油、食料品をはじめとする世界的な物価高が継続しており、減速傾向となっている。また、パナマ運河の干ばつによる通航制限、紅海で船舶の運航に支障が出ており、その動向を注視する必要がある。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績については、売上高は360億25百万円（前年同四半期比34.2%増）、営業利益は27億12百万円（前年同四半期比280.8%増）、経常利益は26億86百万円（前年同四半期比337.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億26百万円（前年同四半期比185.1%増）となった。

セグメントの経営成績は次のとおりである。

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	船舶事業				
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	3,421	324	3,746	—	3,746
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	32,279	—	32,279	—	32,279
顧客との契約から生じる収益	35,701	324	36,025	—	36,025
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	35,701	324	36,025	—	36,025
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	418	418	△418	—
計	35,701	743	36,444	△418	36,025
セグメント利益	3,469	16	3,485	△773	2,712

(注) セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

①船舶事業

新造船市場においては、2023年7月にIMO（国際海事機関）の委員会において採択された「2050年ごろまでに国際海運からの温室効果ガス排出量実質ゼロ」目標に向けて重油に代わる新燃料、その調達方法など具体的方針が定まっていないこと、また原油、鋼材価格及び人件費の値上がりに伴い船価は上昇している一方で、運賃、用船料の上昇は鈍いことなどから、船主側はその動向を様子見しており、発注を控える傾向にある。

収益面については、外貨建て売上対象船は円安により収益は改善したが、内航船は鋼材、機材価格の急激な値上がり、人手不足を起因とした人件費の高騰など、売上対象船において受注時に見積もったコストが大幅に増加しており、厳しい状況は続いている。

改修船事業においては、前連結会計年度から継続して取り組んでいた改造船工事、大口の修繕船工事が完工したことにより売上高が前年同四半期比で増加するとともに、生産性の向上によるコスト削減に取り組み、収益面についても前年同四半期比で改善した。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の船舶事業全体の経営成績については、売上高357億1百万円（前年同四半期比34.9%増）、セグメント利益34億69百万円（前年同四半期比146.1%増）となった。受注については、新造船7隻、修繕船他で379億16百万円を受注し、受注残高は805億72百万円（前年同四半期比12.3%増）となった。

②その他

陸上・サービス事業については、売上高7億43百万円（前年同四半期比2.3%増）、セグメント利益16百万円（前年同四半期比19.7%減）となった。

(2) 財政状態に関する説明
(連結財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)	増減
総資産	40,204	45,121	4,916
負債	32,774	35,453	2,679
純資産	7,429	9,667	2,237

総資産は、前連結会計年度末の402億4百万円から49億16百万円増加し、451億21百万円となった。

これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したものの、現金及び預金が増加したことによるものである。

負債は、前連結会計年度末の327億74百万円から26億79百万円増加し、354億53百万円となった。

これは主に、支払手形及び買掛金が減少したものの、契約負債が増加したことによるものである。

純資産は、前連結会計年度末の74億29百万円から22億37百万円増加し、96億67百万円となった。

これは主に、利益剰余金が増加したことによるものである。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想及び配当予想について、2023年5月12日に公表した業績予想から変更している。

詳細は、本日(2024年2月5日)発表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりである。

なお、今後も当社の業績に変動を与える事象が生じた場合には、速やかに開示する。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,315	15,121
受取手形、売掛金及び契約資産	12,676	11,743
商品	3	2
仕掛品	1,001	407
原材料及び貯蔵品	158	128
前渡金	2,578	1,613
その他	971	2,573
貸倒引当金	△7	△10
流動資産合計	26,696	31,579
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,491	1,437
構築物（純額）	1,615	1,578
機械装置及び運搬具（純額）	2,967	2,833
土地	4,669	4,669
その他（純額）	436	530
有形固定資産合計	11,180	11,049
無形固定資産		
その他	97	64
無形固定資産合計	97	64
投資その他の資産		
投資有価証券	837	923
退職給付に係る資産	422	503
その他	1,058	1,090
貸倒引当金	△88	△88
投資その他の資産合計	2,229	2,428
固定資産合計	13,507	13,542
資産合計	40,204	45,121

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,701	8,253
短期借入金	4,075	4,217
未払費用	1,203	903
未払法人税等	220	323
契約負債	6,309	10,188
船舶保証工事引当金	288	284
工事損失引当金	2,795	2,415
その他	293	675
流動負債合計	24,888	27,261
固定負債		
長期借入金	5,340	5,565
再評価に係る繰延税金負債	802	802
退職給付に係る負債	1,496	1,527
資産除去債務	73	74
その他	173	223
固定負債合計	7,886	8,192
負債合計	32,774	35,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,200	1,200
資本剰余金	672	672
利益剰余金	6,120	8,278
自己株式	△2,017	△2,017
株主資本合計	5,975	8,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76	138
土地再評価差額金	1,585	1,585
退職給付に係る調整累計額	△207	△189
その他の包括利益累計額合計	1,453	1,534
純資産合計	7,429	9,667
負債純資産合計	40,204	45,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)
売上高	26,841	36,025
売上原価	25,287	32,409
売上総利益	1,554	3,616
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	201	253
その他	641	650
販売費及び一般管理費合計	842	904
営業利益	712	2,712
営業外収益		
受取配当金	21	21
受取地代家賃	14	14
雇用調整助成金	7	—
為替差益	—	89
その他	5	18
営業外収益合計	48	144
営業外費用		
支払利息	70	72
資金調達費用	8	38
支払保証料	36	54
その他	31	4
営業外費用合計	145	170
経常利益	614	2,686
特別利益		
投資有価証券売却益	466	—
特別利益合計	466	—
特別損失		
固定資産除却損	43	8
特別損失合計	43	8
税金等調整前四半期純利益	1,037	2,678
法人税、住民税及び事業税	235	428
法人税等調整額	21	23
法人税等合計	257	452
四半期純利益	780	2,226
親会社株主に帰属する四半期純利益	780	2,226

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	780	2,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△339	61
繰延ヘッジ損益	270	—
退職給付に係る調整額	17	18
その他の包括利益合計	△51	80
四半期包括利益	729	2,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	729	2,306
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はない。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はない。

(追加情報)

当社は、2020年9月30日付で東京地方裁判所に三菱造船株式会社から同社が有する特許を侵害しているとして、特許権侵害に基づく損害賠償請求訴訟を提起され、現在、係争中である。

当社としては、上記特許権は無効であり、当社建造船は上記特許権を侵害していないと考えており、本訴訟が当期の業績に与える影響はないものと判断している。